

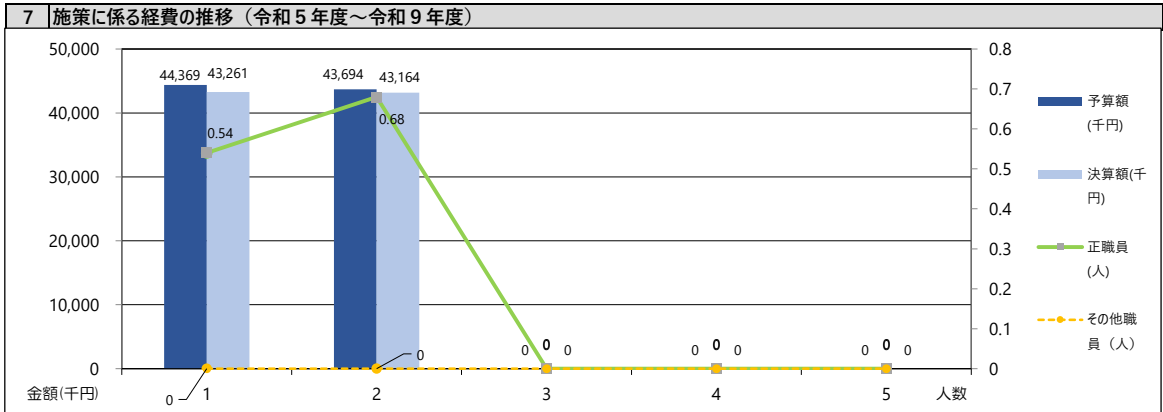
1 政策名および施策名		2 施策の主担当課及び関係課	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～	主担当課	地域振興課
施策	1 市民協働・参画の推進	関係課	秘書広報課、総務課、企画課

3 施策の目的
市民と市が、それぞれ持っている知恵や力を出し合い、情報を共有しながら一体となって協働によるまちづくりを進めます。また、市民活動の活性化により、自立性の高い地域社会を実現するとともに、市民活動団体との協働体制を強化することで市民サービスの向上を図ります。

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
市民活動応援補助金の交付団体数（団体）	目標値			90	93	96	99	102	A
	実績値	84	86	89	90				
羽生市附属機関のうち、公募委員を採用している団体の割合（％）	目標値			80.0	90.0	100.0	100.0	100.0	A
	実績値	43.3	50.0	73.1	86.4				
	目標値								
	実績値								

5 令和6年度の取り組みと評価		
(1) 「羽生市まちづくり自治基本条例」の運用	取組評価	A
「羽生市まちづくり自治基本条例」の周知	・「羽生市まちづくり自治基本条例」の普及・啓発を行った。 （市ホームページへの資料掲載、情報公開室への閲覧資料の配置、職員向け研修と啓発の実施）	A
市民と行政の適正な役割分担の推進	・「羽生市協働のまちづくり指針」の普及・啓発を行った。 （市ホームページへの資料掲載、情報公開室への閲覧資料の配置）	A
協働によるまちづくり推進事業	・市民と市の協働による住みよい地域社会の形成及び地域自治の振興を図ることを目的として、自治会に交付した。	A
(2) 市民活動の活性化	取組評価	A
市民活動応援補助金事業	・市民活動を活性化させるため、地域社会における公益性・公共性の高い自発的な取り組みに対し補助金を交付した。 R6：1件	A
(3) 市民参画システムの確立と運用	取組評価	A
パブリックコメント制度の運用	・計画等のパブリックコメントを実施した。 R6：8件	A
各種審議会における公募委員の登用	・附属機関における公募委員の登用の啓発及び広報誌により公募を実施した結果、公募が可能な附属機関に公募委員が所属している団体が10%超増加した。	A
市民座談会の開催	・9地区の公民館で市民座談会を実施した。 R6：参加者合計245名	A
市民意識調査・市民アンケートの実施	・総合振興計画に位置付けている目標指標（115項目）の効果検証のため、市民アンケート調査を実施した。 R6：対象1,500人、回収数576件（38.4%） ・集計作業時に「AI-OCR」を活用し、作業効率を向上させた。 R6：職員作業時間 約70%減少	A

6 令和6年度の施策に係る経費 (千円)			経費の現状と今後の見込み	
経費 (A+B)	48,396	予算額	43,694	市民協働を参画するため、補助金等の確保が必要となる。今後も同額程度の経費負担が見込まれる。
A.決算額	43,164	決算額前年対比	-97	
B.人件費	5,232	正職員 (人)	0.68	
市民1人あたり (円/人)	904	その他職員 (人)	0.00	



8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) 「羽生市まちづくり自治基本条例」の運用	<ul style="list-style-type: none"> 「羽生市まちづくり自治基本条例」の普及・啓発 市ホームページに資料を掲載する。 情報公開室へ閲覧資料を配置する。 	同左
(2) 市民活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の活性化に向けた支援 市民活動を活性化させるため、地域社会における公益性・公共性の高い自発的な取り組みに対し、引き続き補助金を交付する。 	同左
(3) 市民参画システムの確立と運用	<ul style="list-style-type: none"> 市民が参画しやすい環境づくり 計画等のパブリックコメントを実施する。 市民座談会を実施する。 市民意識調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画等のパブリックコメントを実施する。 市民座談会を実施する。 市民アンケートを実施する。

1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	2 コミュニティ支援

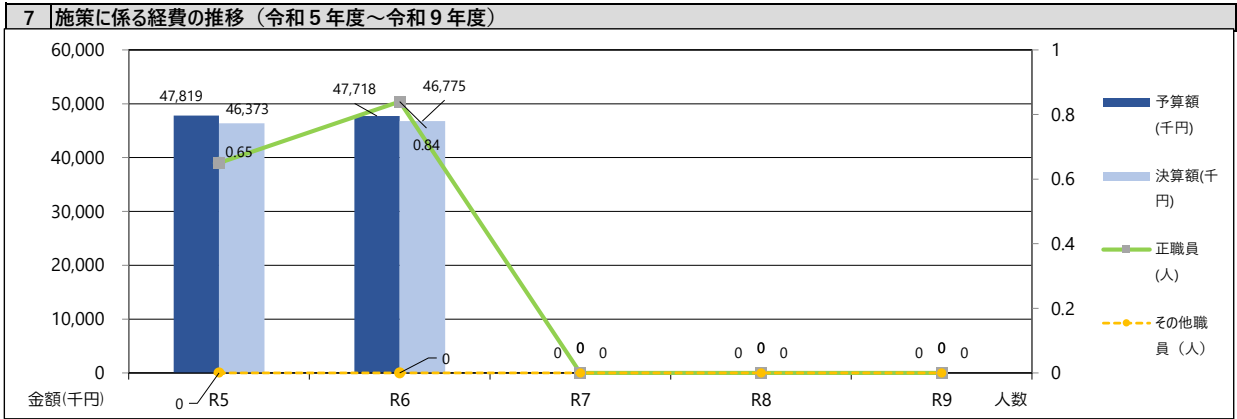
2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課

3 施策の目的	
自治会や地域協議会が、地域活動を主体的に展開しながら、地域のことは地域で解決できる体制をつくります。	

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
自治会加入世帯割合（％）	目標値			71.4	71.6	71.7	71.9	72.0	A
	実績値	71.1	70.4	69.3	68.2				
自治会などの集まりや行事に参加している割合（％）	目標値			61.0	62.0	63.0	64.0	65.0	A
	実績値	-	58.7	57.2	58.5				
	目標値								
	実績値								

5 令和6年度の取り組みと評価			
(1) 自治会等への支援		取組評価	A
自治会等活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・住みよい地域社会の形成及び地域自治の振興を図るため、自治会活動支援事業として自治会及び自治会連合会に交付金を交付した。 ・自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組む自治会連合会の2つの委員会の活動を支援した。 ・自治会活動周知を図るため、「羽生市自治会連合会だより」の発行（年2回）を支援した。 ・市ホームページ内の自治会連合会コーナーに自治会関連ニュースを掲載した。 ・自治会長向け自治会活動ハンドブック及び自治会加入促進チラシを改訂した。 ・自治会を対象に自治会加入促進等に関するアンケート調査を実施した。 		A
自治会への加入促進	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者に自治会加入促進チラシを配布した。 ・外国人向け自治会加入促進チラシを作成し配布した。 		A
地域協議会支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内9地区の各地域協議会へ交付金を交付した。 R6：計342,000円（9協議会）		A
(2) コミュニティ協議会への支援		取組評価	A
コミュニティ協議会支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ協議会へ補助金を交付した。 R6：167,000円		A
(3) コミュニティ施設の充実		取組評価	A
地域活動センター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動センター運営事業として、各地区の地域活動を支援した。 ・明るく住みよい地域社会づくりを推進するための施設であるコミュニティセンターの運営及び利用促進を行った。 		A
自治会集会所整備事業費補助金交付事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の地域活動の拠点となる自治会集会所の修繕等に対し、自治会集会所整備事業費補助金（補助対象経費の1/5）を交付した。 R6：23自治会（27件）／計1,994,000円		A
(4) 多文化の共生		取組評価	A
外国人住民に関わる交流支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流市民の会活動を支援した。（日本語教室、和食体験、ひなまつりパーティーの開催、商工まつり） 		A
外国語での情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ「カタボケ」を使って広報はにゅうを10言語で情報提供した。 ・メール配信サービス及び防災アプリを10言語で配信した。 		A
外国人住民の相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度からの外国人相談窓口の設置に向け、ホームページへの掲載及び翻訳機の準備をした。 		A

6 令和6年度の施策に係る経費 (千円)			経費の現状と今後の見込み	
経費 (A+B)	53,238	予算額	47,718	自治会等が地域活動を継続的に実施するため、補助金等を交付している。今後も同額程度の経費負担が見込まれる。
A.決算額	46,775	決算額前年対比	402	
B.人件費	6,463	正職員 (人)	0.84	
市民1人あたり (円/人)	995	その他職員 (人)	0.00	



8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) 自治会等への支援		
<ul style="list-style-type: none"> 自治会を取り巻くさまざまな課題の解決 自治会活動の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会を取り巻くさまざまな課題の解決に取り組む自治会連合会の2つの委員会の活動を支援する。 市ホームページによる自治会連合会の活動の周知や「羽生市自治会連合会だより」の発行を支援する。 持続可能な自治会活動を目指し、自治会の合併等の検討を進める。 	同左
(2) コミュニティ協議会への支援		
<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ協議会事業の充実 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ協議会へ補助金を交付する。 コミ協だよりを発行する。 花いっぱい運動の推進を図る。(羽生駅前プランターに季節の花の植込み) 防災講演会を開催する。 	同左
(3) コミュニティ施設の充実		
<ul style="list-style-type: none"> 羽生市自治会集会所整備事業補助金の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の地域活動の拠点となる自治会集会所の修繕等に対し、自治会集会所整備事業費補助金(補助対象経費の1/5)を交付する。 	同左
(4) 多文化の共生		
<ul style="list-style-type: none"> 外国語での情報提供の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、市から周知すべき内容を外国語でも広報する。 4月に設置予定の外国人相談窓口の周知及び充実を図る。 	同左

1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	3 都市交流・国際交流の推進

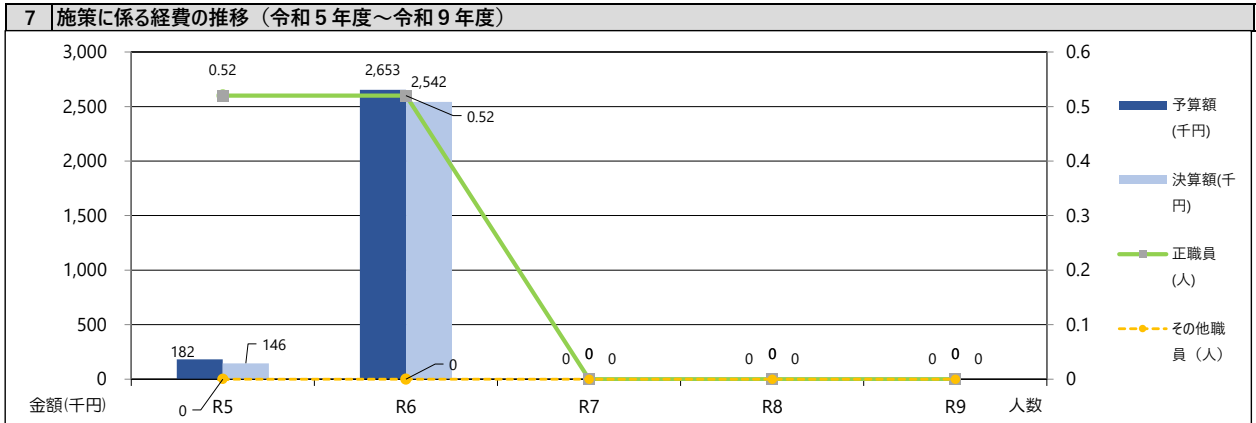
2 施策の担当課及び関係課	
担当課	秘書広報課
関係課	—

3 施策の目的	
国内外の都市との交流を図り、他の都市の歴史・文化などへの理解を深める。また、本市や日本の情報を発信することで相互理解を深め、グローバル社会の中で国際人としての市民の自覚を促し、他の都市の人々との交流を推進する。	

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
国際交流イベント参加者数（人）	目標値			100	200	300	400	580	S
	実績値	36	57	287	300				
友好都市、観光・経済交流協定都市間相互交流回数（回）	目標値			5	7	9	11	13	A
	実績値	2	6	6	7				
交流都市に関する情報発信回（回）	目標値			4	5	5	5	6	A
	実績値	4	0	4	5				

5 令和6年度の取り組みと評価				
(1) 市民主導型の国際交流の推進		取組評価	A	事業評価
国際交流団体の活動支援	・「羽生市国際交流協会」「羽生国際交流市民の会」の活動に対する支援を行った。			A
外国人向け日本語講座の開催支援	・日本語教室を毎月2回実施した。（ホームページ等により周知）			A
外国人との交流イベント等の開催支援	・和食作り体験、商工まつり出店、ひなまつりパーティーを実施した。			A
(2) 姉妹都市・友好都市等との交流		取組評価	A	事業評価
姉妹都市との交流事業	・70周年記念式典訪問団受け入れを行った。（バギオ市、ミルブレー市から受入、受入人数は前回の22→9とした。） ・バギオ市訪問による相互交流を行った。			A
友好都市との交流事業	・金山町、富士河口湖町との交流を行った。湖水祭り、まちフェス、商工まつり、キャラクターさみっど、除雪支援（観光協会同士の連携により物産販売に取り組んでいる。）			A
交流都市に関する情報発信	・70周年記念式典やバギオ市訪問を広報はにゅうで紹介した。			A

6 令和6年度の施策に係る経費 (千円)			経費の現状と今後の見込み	
経費 (A+B)	6,543	予算額	2,653	日本語講座やイベントは「羽生国際交流市民の会」のボランティア活動により行われている。 姉妹都市・友好都市との交流は、人数や日数を必要最小限にとどめ、経費の削減に努める。
A.決算額	2,542	決算額前年対比	2,396	
B.人件費	4,001	正職員 (人)	0.52	
市民1人あたり (円/人)	122	その他職員 (人)	0.00	



8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) 市民主導型の国際交流の推進		
・「国際交流市民の会」活動支援の継続	・日本語教室、交流イベントを実施する。	同左
(2) 姉妹都市・友好都市等との交流		
・今後の姉妹都市、友好都市との交流	・日本国際博覧会において海外パビリオン（フィリピン、ベルギー）を訪問する。	・バギオ市青少年訪問団を招待する。

1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	4 文化の継承・振興

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	郷土資料館
関係課	生涯学習課

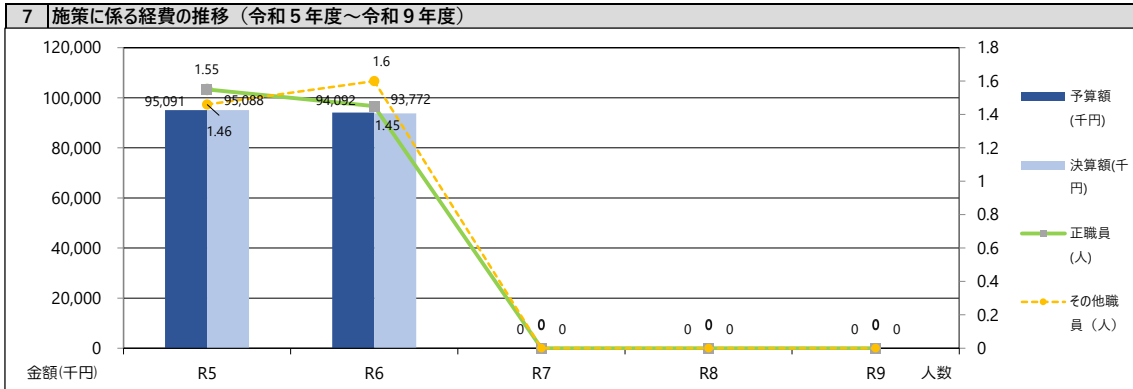
3 施策の目的
本市にかかわる歴史・伝統・文化を正しく理解し、次世代に継承していくとともに文化の振興を図り、市民の心豊かな生活を実現します。

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
「文化財の保存及び活用に関する計画」の策定件数（件）	目標値			3	3	3	3	4	A
	実績値	3	3	3	3				
文化の継承・振興につながる事業数（件）	目標値			10	10	10	10	10	S
	実績値	10	10	12	13				
宝蔵寺沼現地見学会の開催回数（回／年）	目標値			6	6	7	7	8	B
	実績値	4	6	7	5				

5 令和6年度の取り組みと評価			
(1) 文化財調査の充実		取組評価	A
地域史発掘事業	・三田ヶ谷、新郷、村君、須影、川俣の5地区で実施した。		B
埋蔵文化財・地誌・社寺調査	・文化財調査：埋蔵文化財試掘調査、永明寺古墳資料調査、市指定無形民俗文化財調査、寺院所蔵資料調査を実施した。		A
企画展等の開催	・常設展示「羽生の文学と歴史」を実施した。 ・企画展「羽生市70年のあゆみ」を実施した。		A
(2) 適切な文化財の保存		取組評価	A
文化財保存管理事業	・伝堀越館跡管理（草刈・竹刈）を実施した。 ・勤兵衛マツ管理（手入れ、薬剤散布）を実施した。		B
文化財保護、普及・啓発・活用事業	・自生地見学会・永明寺古墳散策を実施した。 ・川俣縮切跡430周年記念事業を実施した。 ・羽生学講座を実施した。 ・公民館、集会所主催の高齢者大学での講演を実施した。		A
子ども郷土芸能入門教室事業	・市内にある郷土芸能を行う団体が、文化復興の一環として獅子舞、万作、お囃子、太鼓、民謡、地芝居等を郷土芸能発表の場で披露した。		B
企画展等の開催	(1) 企画展等の開催と同じ		A
(3) 文化活動への支援		取組評価	A
市民文化祭事業	・羽生市文化祭は実演等を実施した。 R6：入場者数約1,800人 ・舞台芸能発表会は特別出演1団体が参加した。 R6：来場者約420人 ・公民館まつりは体験講座を実施した。 R6：9館来場者数約3,650人		A
文化的事業の開催	・産業文化ホール指定管理者による自主事業を1事業追加した。		A
各種講座の開講	(2) 文化財保護、普及・啓発・活用事業と同じ		A
(4) 文化施設の充実		取組評価	B
施設の基盤整備	・産業文化ホールの基盤整備（計画修繕1件、緊急修繕4件、小規模修繕は指定管理者）を実施し、文化活動の拠点として充実を図った。		B
収蔵施設の充実	・収蔵資料の収蔵庫を燻蒸することにより、カビや害虫を防ぎ、収蔵資料の管理を実施した。 ・定期的な清掃や点検作業を実施した。		B
(5) ムジナモの生育環境の整備と自生地の活用		取組評価	S
ムジナモ自生地植生回復事業	・ムジナモ保護増殖事業（埼玉大学の調査）委託、自生促進業務（除草、外来樹木伐採、掘再生）委託、自生地食害生物駆除等業務（自生地管理作業）委託を実施した。		S
ムジナモ自生地普及事業	・講演会、自生地見学会を実施した。		S

6 令和6年度の施策に係る経費(千円)		経費の現状と今後の見込み	
経費(A+B)	108,084	予算額	94,092
A.決算額	93,772	決算額前年対比	-1,316
B.人件費	14,312	正職員(人)	1.45
市民1人あたり(円/人)	2,020	その他職員(人)	1.60

羽生市にかかわる歴史・伝統・文化の継承と文化振興を図ることができる。
 「(4)文化施設の充実」については、施設の老朽化に伴い、緊急の支出があることが予想されることから、施設の在り方の検討が必要である。



8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) 文化財調査の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域史発掘事業未実施地区の増加の働きかけをする。 不足している文化財調査の検討、実施をする。 	同左
(2) 適切な文化財の保存	<ul style="list-style-type: none"> 伝堀越館跡保存目的の調査等を検討する。 勤兵衛マツの今後の管理等の方向性を検討する。 子ども郷土芸能入門教室事業を見直し、検討する。郷土芸能の周知方法を検討する。 	同左
(3) 文化活動への支援	<ul style="list-style-type: none"> 羽生市文化祭及び舞台芸能発表会の開催を支援する。 地域で活動しているサークル等の活動支援、発表の場を提供する。 指定管理者(企業)の強みを生かした事業を開催する。 	同左
(4) 文化施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> 産業文化ホール指定管理を継続する。 産業文化ホールの在り方、次期指定管理業務継続の検討する。 産業文化ホールの基盤を整備する。 収蔵庫内の除湿器を追加購入する。 収蔵資料の再整理による省スペース化、新たな収蔵庫の設置について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業文化ホール指定管理の公募を実施する。 産業文化ホールの基盤を整備する。 収蔵資料の再整理による省スペース化、新たな収蔵庫の設置について検討する。
(5) ムジナモの生育環境の整備と自生地の活用	<ul style="list-style-type: none"> 草類により埋没した堀を再掘削する。 自生地見学会の回数増加、見学施設の整備について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 草類により埋没した堀の再掘削する。 夏季に加えて、春季の見学会を開催する。見学施設の整備を検討する。

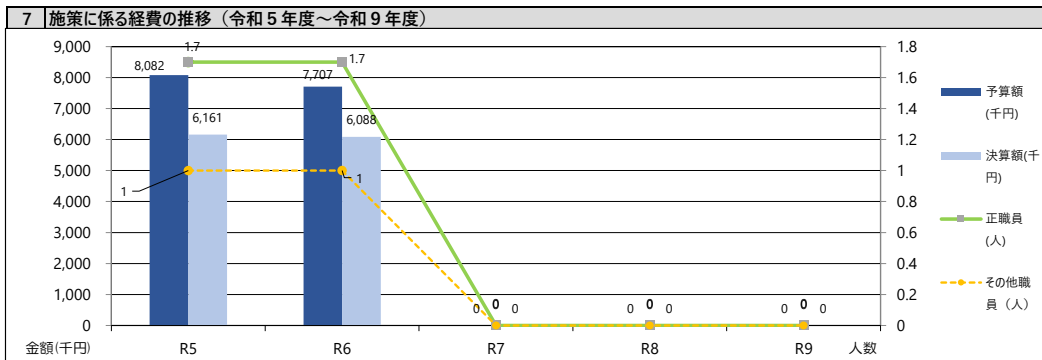
1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～	担当課	人権推進課
施策	5 人権施策の推進	関係課	学校教育課、生涯学習課

3 施策の目的
市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、差別されず、多様性を認め、共に支え合いながら生きがいのある人生を送ることができるよう、人権が確立・擁護された明るい社会を実現します。

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
基本的人権が尊重されていると思う割合（％）	目標値			68.3	68.5	69.0	69.5	70.0	A
	実績値	67.9	59.2	60.9	62.1				
人権教育・啓発研修会への参加者（人）	目標値			1,300	1,600	1,900	2,300	2,500	A
	実績値	617	1,229	1,565	1,593				
人権教育指導者研修会参加者の理解度（％）	目標値			90.5	91.0	91.5	92.0	92.5	S
	実績値	89.5	81.8	83.9	99.4				

5 令和6年度の取り組みと評価			
(1) あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	取組評価	A	事業評価
地域・企業・福祉関係者等人権研修会の開催	・地区別では、地域の行事等と重複しないよう、各地区の自治会長に日程の調整を依頼したが、参加者数が少ない地区があった。内容に関しては、人権問題への理解を深め、人権意識を高めることができた。 R6 地区別：91名 企業：270名 市職員等：374名 人権問題：62名		A
人権教育指導者研修会の開催	・実施方法をオンラインと会場参集の選択制とした。 R6：参加者数177名		A
人権教育研修会の開催	・前年度の参加者アンケートの結果から、最も関心のあった人権課題についての講演会を実施するとともに、人権教育指導者研修会と併催にした。 R6：参加者数330名		A
人権ポスター・マンガ展の開催	・8月の「人権尊重社会をめざす県民運動協調月間」に合わせて、市役所と公民館（2か所）で、人権に関するポスター等を掲示した。 ・掲示場所を複数にすることで、広く市民へ人権啓発をすることができた。		A
(2) 相談支援体制の充実	取組評価	A	事業評価
人権擁護委員による人権相談事業	・定時相談・特設人権相談日を設けて、広報や研修会等で人権相談の周知をした。 ・多種多様な相談について、対応するために人権擁護委員の研修を実施し、スキルアップを図った。		A
生活相談事業	・生活相談員が生活上の悩みや心配事の相談に応じ、必要に応じて行政機関との連携を図り、同和問題に関する諸問題の理解と解決につなげることができた。このことにより、地域住民の生活向上を図ることができた。		A
人権に関わる各種相談事業	・悩みを抱えている方が、相談できる場所があること、秘密厳守であることを広報誌等で周知を図った。		A
各種教育相談事業	・いじめや不登校、学校生活などの悩み解決に向け、教育相談員による教育相談を行った。		A
(3) 分野別人権施策の推進	取組評価	A	事業評価
人権課題別研修会の開催	・女性や子ども、高齢者、障がいのある方、同和問題、性的少数者、外国人など、様々な人権課題があることを正しく認識した。人権意識の向上と豊かな人権感覚を身につけるための研修の充実を図ることができた。		A
いじめの防止等に関わる協議会・審議会運営	・いじめ問題調査審議会（教育委員会）、いじめ問題対策協議会（人権推進課）を開催し、各関係団体といじめの防止や解決に向けた情報交換を行い、連携強化を図ることができた。		A
(4) 交流の促進	取組評価	A	事業評価
集会所事業	・小、中学生学級では、参加する児童・生徒数が減少傾向の中、学習会や移動学習会「親子交流の集い」を通して学力の向上や参加者同士の交流を図ることができた。成人・女性・高齢者学級では、様々な活動を通して、参加者同士の交流や教養・文化の向上を図ることができた。		A
ヒューマンフェスティバル北埼玉の開催	・北埼玉3市の持ち回りで実施している「人権フェスティバル」と「人権教育研究集会」を令和6年度から統合し、名称を「ヒューマンフェスティバル北埼玉」として実施した。 ・令和6年度は、加須市で開催し、2,300名の参加があった。アンケートでは「人権意識が高まった」81.6％との結果で、人権意識を高めることができた。		A

6 令和6年度の施策に係る経費(千円)			経費の現状と今後の見込み	
経費(A+B)	21,140	予算額	7,707	市民一人ひとりが互いの人権を尊重し、人権が確立、擁護された明るい社会を実現するために人権研修会を充実させる。研修会・啓発活動に今後も一定程度の経費が見込まれる。
A.決算額	6,088	決算額前年対比	-73	
B.人件費	15,052	正職員(人)	1.70	
市民1人あたり(円/人)	395	その他職員(人)	1.00	



8 課題解決に向けた取り組みと改善策(令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度に実施した人権意識調査により、人権に関する市民意識の現状を把握し分析することで、今後の人権施策の推進や人権に関する研修会での基礎資料として活用・反映させる。 ・人権に関する基礎的な知識を深め、人権を尊重することの大切さを認識できるよう様々な人権課題をテーマに取り上げた各種研修会を開催する。 	同左
(2) 相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みを抱えている人に対し、様々な相談体制があることを広報等で広く市民に周知する。また、相談に応じる人権擁護委員等に対し、多種多様な人権問題に対応できるよう、資質向上のための研修会の開催や情報提供に努める。 	同左
(3) 分野別人権施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題を正しく理解し、人権に十分配慮した行動ができるよう各種研修会を実施する。 ・人権擁護委員による「人権教室」等の啓発活動を通じて、お互いを尊重し認め合うことで人権意識を養う。いじめ問題対策連絡協議会等で、学校の現状や地域の各種団体と情報交換や連携を図ることにより、いじめを未然に防ぐ。また、いじめ問題の解決や人権侵害の減少につなげる。 	同左
(4) 交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校の児童、生徒、成人、女性や高齢者など集会所を拠点とした文化活動を実施する。 ・北埼玉3市で持ち回りの「ヒューマンフェスティバル北埼玉」は、令和7年度、羽生市を会場に開催する。教職員の研修会を含む作品展示や舞台発表等の交流活動を通じて差別意識の解消を図る。また、内容を充実させるとともに、人権団体と連携し、地域住民との交流を深めるイベントを実施する。 	同左

1 政策名および施策名	
政策	1 協働・文化～地域とともに生きるまちをつくる～
施策	6 男女共同参画の推進

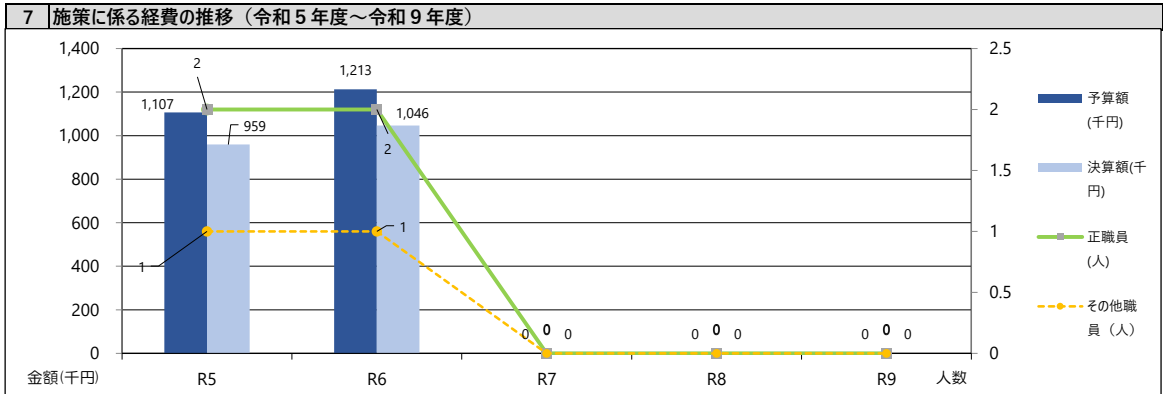
2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	人権推進課
関係課	—

3 施策の目的	
女性も男性も共に一人の人間として尊重され、多様性を認め合い、持っている力を十分に発揮できるいきいきとした社会、そして性別によらず活躍できる社会の実現を目指します。	

4 後期基本計画（令和5年度～令和9年度）に位置付けている目標指標									
指標名（単位）	年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	評価
審議会等における女性委員の割合（％）	目標値			35.0	36.0	38.0	39.0	40.0	B
	実績値	31.3	29.4	29.4	31.2				
固定的な役割分担に賛同しない人の割合（％）	目標値			77.5	78.0	78.5	79.0	80.0	A
	実績値	76.6	78.8	72.9	77.1				
身の回りの男女の地位は平等と感じている人の割合（％）	目標値			18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	S
	実績値	12.1	13.0	19.0	22.9				

5 令和6年度の取り組みと評価			
(1) 男女共同参画意識の啓発	取組評価	A	事業評価
男女共同参画情報紙「みらい」の発行	・男女共同参画情報紙「みらい」を令和6年1月に全戸配布した。令和6年3月にスタートした「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」について特集し周知を図った。		A
女と男のフォーラムの開催（男女共同参画講演会の開催）	・「性の多様性ってなんだろう？」と題し、講演会を開催した。性の多様性を学び、尊重するために、それぞれが出来ることを考える場となった。		A
男女共同参画パネル展	・市役所、公民館（2ヶ所）でパネル展を開催した。 ・公民館では、パネル展の開催期間中に男女共同参画講座を開催し、男女共同参画社会の実現に向け理解を深めた。（参加者129名）		A
(2) 各種審議会等への登用促進	取組評価	B	事業評価
審議会等委員の公募拡大	・市民が市の会議等に参加しやすい環境を整備するため、託児サービスを実施した。委員募集の際に、託児サービスについても併せて周知した。		B
女性人材リストの周知・活用	・2月号広報において、女性人材リストの登録について掲載した。		B
(3) 女性活躍の推進	取組評価	B	事業評価
各種資格取得講座の開催	・医療事務講座（全9回）を開催した。（受講者11名、合格率89％）		B
再就職準備セミナーの開催	・就職支援セミナー『「感じのよさ」はスキルです～秘書検定面接試験委員による「感じのよさ」の伝え方～』をオンライン開催した。（埼玉県・行田市・加須市と共催）		B
ふるさとハローワークとの連携	・相談者に対し、ふるさとハローワークと連携し、切れ目のない支援を行った。		B
(4) DV防止推進体制の充実	取組評価	A	事業評価
女性相談事業	・毎週水曜日に女性相談（全48回）を行った。相談しやすい環境整備を図るとともに、関係各所との連携強化に努めた。また、広報、ホームページ、公式LINEを活用し、広く周知を図った。		A
DV被害者等支援事業	・パープルカフェ（6回）を開催し、DV被害者が精神的にも自立できるよう必要な支援を行った。		B
DV防止啓発事業	・DV防止啓発パネル展を2回開催した。・埼玉県事業である「パープルリボンキャンペーン」に参加し、DVの根絶を広く呼びかけた。 ・教職員対象と学童指導員対象の研修会を開催した。		A
(5)	取組評価		事業評価

6 令和6年度の施策に係る経費 (千円)			経費の現状と今後の見込み	
経費 (A+B)	20,715	予算額	1,213	男女共同参画に関する普及、啓発活動を強化するための経費が見込まれる。また、女性相談事業では福祉専門職の相談員への委託料に今後も一定程度の経費が見込まれるが、女性の多様化する悩みに対応するためには必要である。
A.決算額	1,046	決算額前年対比	87	
B.人件費	19,669	正職員 (人)	2.00	
市民1人あたり (円/人)	387	その他職員 (人)	1.00	



8 課題解決に向けた取り組みと改善策 (令和7年度～令和8年度)		
課題	令和7年度	令和8年度
(1) 男女共同参画意識の啓発		
・あらゆる分野での参画に向けた啓発の必要性	・固定的な性別役割分担意識の解消に向けた意識啓発は、継続的な取り組みが必要であり、引き続き、男女共同参画講演会やパネル展、広報、ホームページ等において啓発を行う。	同左
(2) 各種審議会等への登用促進		
・女性の登用率の低迷	・女性人材リスト、託児サービスについてさらに周知を図る。また、様々な機会を活用して、審議会等委員への女性の登用を働きかける。	同左
(3) 女性活躍の推進		
・県や近隣市と連携した講座やセミナーの開催	・埼玉県、行田市、加須市との共催事業として、オンラインによる就職支援セミナー等を開催する。	同左
(4) DV防止推進体制の充実		
・コロナ禍を経たDV相談件数の増加傾向 ・相談しやすい環境整備 ・研修会による啓発の重要性	・広報、ホームページ、公式LINEを活用したり、公共機関の窓口に相談窓口ガイドや相談カードを設置するなど、DV被害者にとっての身近な相談窓口の周知を図る。 ・DV相談において、きめ細やかな相談対応と庁内及び関係機関との連携を充実させるとともに、相談対応におけるスキルアップを図る。また、引き続き研修会を開催し啓発に努めていく。	同左